

慶應義塾大学 文学部

教育学専攻

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教育学専攻は、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下に示すカリキュラムを編成し実施する。

1. 教育学の基礎理論に関する基本的な知識を習得するための科目として「教育学概論」（2年次進級条件科目）、教育学の主要な学問領域を学修するための科目として「教育学史」（教育哲学分野）、「教育史」（教育史・思想史分野）、「比較教育学」（比較教育学分野）、「教育心理学概論」（教育心理学分野）を必修科目として設置する。
2. 教育学の学術文献を原語で理解するとともに、卒業研究を遂行するために必要な基礎的能力を養う導入科目として「教育学原典講読」（2年次進級条件科目）を必修科目として設置する。
3. 教育学上重要な諸理論についてより専門的に理解し、先端的研究に触れるための科目として教育哲学、教育史、比較教育学、教育心理学の4分野に関わる「教育学特殊」を設置する。
4. 教育学研究に関するより専門的な方法論を学ぶための科目として、「教育研究法」及び「教育測定実験」（実験・調査・分析方法の修得）、「教育学文献研究」（日本語、英語、ドイツ語、フランス語による文献・史資料研究法の修得）を設置する。
5. 卒業論文を執筆するために、「教育学演習」及び「教育学研究会」（3・4年次履修指定科目）を必修科目として設置する。学生は自らの関心に従って研究テーマを設定し、所属する研究会（ゼミナール）の担当教員による指導を受けることができる。学生は原則として、2年間同一教員の研究会に所属しなければならない。